

皆様こんにちは！今回は5月6日に ESP エンタテインメント専門学校で行われた「High School Live (HSL) in ESP」の様子をお届けします。



まずは2年生ガールズトリオ「さしみ」!! 外のライブに出るのは初ですが、2年生の中で急成長の注目株です。音作りやセッティングなど、不慣れながらなんとかリハをこなし本番に臨みます。



ガチガチに緊張していましたが、2曲をしっかり最後まで演奏することができました!! しかもこの日は、共演する学校が名だたる高校ばかりで、プレッシャーも凄かったのですが、なかなかどうして堂々と演奏できていたように思います。



しかし本人たちは納得がいく演奏ができなかったようで、演奏後に「失敗したあああああ」と泣いていました。泣くほどの失敗はなかったように私は思いましたが、しかしそれほどの思いを持って臨んでくれたのかと思うと嬉しくもありました。その悔しさは次に繋げよう!! お疲れ様でした。



さて、英真のトリを飾るのは、つい先日全国大会の二次予選で会場を沸かせた4人+サポート1人の、勢いのある3年生バンドです。この日もノリノリのナンバーを引っさげ、意気揚々とライブに臨みます。



写真を見ていただいてもお分かりのように、さすがに大舞台を経験しているこのバンド、今回も大いに会場を沸かせたのかと思いきや、この日はダメダメのダメダメでした。ベースとドラムのリズム隊はズレていてバタバタしているわ、ギター2人の息も合っていないわ、ボーカルはノドを痛めたとかでピッチが安定しないわで、横で一緒に聞いていた連盟長に「これ、ホンマにあの（全国予選ですごく良い演奏をしていた）バンドか？」と確認されるほどでした。

ただ、一番残念だったのは、終演後に辛辣な講評を伝えたときに、「昨日の練習時間が取れなかった」「今日の客はノリがイマイチだった」「リハのときに色々と言われたのが癪にさわった」などと、上手くできなかった理由を外に求めたことでした。それに対し私は「今日上手いかなかったのはそれが原因ではない。いつも言っているように、驕らず、謙虚に自分たちの振る舞いを見つめなおせていなかったからだ。ここ最近、黄色い声援を受けて、自分たちが相当うまくなったと勘違いして、準備を怠ってなかったか？リハのときの注意を素直に受け入れて改善できなかったか？その驕りに今回足元をすくわれたんだ」と伝えました。それを妙な面持ちで聞いていた彼らに、どこまで響いたのかは正直わ

かりません。ただ、新1年生が入ってきて部活を作っていくこの時期に、もう一度気持ちを締めなおし、お互いを見つめる機会を作れたことは良かったと思っています。

次は阪南高校さんとの交流ライブが控えていますので、そこに照準を合わせてしっかりと練習を積んでほしいところです。共演した桜塚・金剛・都島工業・武庫荘総合高校の皆様、裏方で支えていただいた ESP 学園のスタッフの方々、大変ありがとうございました！



**おつかれさまでした!!!**